

龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画(第一次)の取組

完了施策

第1節 家庭、学校、地域社会が連携した子どもの読書活動の推進

*目指す将来の姿「読書」が子どものごく身近な存在になっています。

1. 家庭における読書活動の推進								
(1) 保健センターにおける子どもの読書活動の推進								
施策名	内容	平成17年度施策内容・実績	平成18年度施策内容・実績	平成19年度施策内容・実績	平成20年度施策内容・実績	平成21年度施策内容・実績	担当課	
ア 絵本の読み聞かせや絵本に触れる機会の充実	① 「はじめての絵本」事業	278冊を購入し中央図書館おはなしの部屋に「あかちゃん絵本」として設置しました	「はじめての絵本」事業を基に「ブックスタート」が開始されました。					健康増進課 中央図書館
	② ブックスタート事業		配布率 94.5%	配布率 95.7%	配布率 97.0%	配布率 98.0%		
	③ 保健センター内の絵本コーナーを充実させる	40冊増冊(寄贈)	「はじめての絵本」事業における絵本と寄贈絵本でコーナーが充実したため、完了施策とします。					健康増進課
イ 家族への読書啓発活動	① 推薦図書資料・家庭教育手帳の配布	ブックスタート時に推薦図書リストを配布 家庭教育手帳を652冊配布	ブックスタート時に推薦図書リストを配布 家庭教育手帳を654冊配布	ブックスタート時に推薦図書リストを配布 家庭教育手帳を668冊配布	家庭教育手帳は、母子健康手帳交付時に配布しており、配布率は100%であることから、20年度以降実績値の掲載を行わないことにする。	ブックスタート時に推薦図書リストを配布 ※家庭教育手帳は、県からの配布がなくなり、実施しませんでした。	健康増進課	
	② 妊婦教室・父親教室における働きかけを行う	妊婦教室・父親教室における働きかけを行う			母子健康手帳・父親健康手帳の配布・交付のときに、絵本の大切さについて情報提供を行う		健康増進課	
(2) 地域子育て支援センター及びさんさん館内子育て支援センターにおける子どもの読書活動の推進								
ア 絵本の読み聞かせや絵本に触れる機会の充実	子育て支援センター全3館において絵本の読み聞かせ・おはなし会を実施する	298回/年	322回/年	558回/年	496回/年	446回/年	こども福祉課	
イ 家族への読書啓発活動	センターだよりやチラシ・館内掲示などによる絵本の紹介やおはなし会開催の案内を行う	25回/年	44回/年	68回/年	160回/年	91回/年	こども福祉課	
ウ 読書への関心を高めるための取組	地域子育て支援センター・さんさん館子育て支援センターにおける絵本の読み聞かせ・おはなし会の実施	348回/年	388回/年	386回/年	276回/年	232回/年	こども福祉課	
エ 絵本コーナーの設置と充実	地域子育て支援センター・さんさん館子育て支援センターにおいて絵本コーナーのレイアウトの工夫と読書スペースの確保を行う	13箇所	10箇所	17箇所	6箇所	6箇所	こども福祉課	
※平成20年度以降は紙芝居・エプロンシアターをおはなし会と分けて統計を取りました								
2. 学校等における読書活動の推進								
(1) 保育所における子どもの読書活動の推進								
ア 絵本の読み聞かせや絵本に触れる機会の充実	日々の保育において絵本の読み聞かせを実施する	3,000回/年	3,000回/年	3,000回/年	3,120回/年 ※認定子ども園2園設立	3,200回/年	こども福祉課	
イ 保護者への読書啓発活動	所内のポスター掲示や保育所だよりによりおはなし会の通知や本の紹介を行う おはなし会の際に保護者へ絵本の紹介を行う	75回/年	74回/年	75回/年	77回/年	65回/年	こども福祉課	
ウ 読書への関心を高めるための取組	おはなし会・誕生会などの月行事において紙芝居やパネルシアター・エプロンシアターを実施する	3,141回/年	3,132回/年	3,062回/年	3,211回/年	3,269回/年	こども福祉課	
エ 読書を通じた異年齢交流の促進	職場体験・ボランティアスクール等で中学生・小学生が保育所の子どもたちに読み聞かせを行う	67回/年	45回/年	14回/年	15回/年	14回/年	こども福祉課	
※平成20年度以降は紙芝居・エプロンシアターをおはなし会と分けて統計を取りました								
(2) 幼稚園における子どもの読書活動の推進								
ア 私立幼稚園の現状の把握	読書活動に関する調査の実施と特色ある取り組みの調査	調査の実施	調査結果を基に中央図書館から幼稚園に対してイベント案内などの啓発活動を行う					学務課 中央図書館
イ 教諭及び保護者への啓発	中央図書館からの読書活動情報の提供							

龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画(第一次)の取組

③ 学校における子どもの読書活動の推進								
ア	児童生徒の読書習慣の確立・読書指導の充実	① 朝の読書を継続して実施し、定着させることによって読書量を増やしていく	児童生徒1人当たりの年間読書冊数 22.9冊/年	児童生徒1人当たりの年間読書冊数 24.6冊/年	児童生徒1人当たりの年間読書冊数 39.0冊/年	児童生徒1人当たりの年間読書冊数 44.4冊/年	児童生徒1人当たりの年間読書冊数 53.4冊/年	指導課・学務課・学校
		② 読書指導計画の策定・実施		18校/19校(全校)	19校(全校)	19校(全校)	19校(全校)	指導課・学務課・学校
		③ 県事業(みんなにすすめたい一冊の本事業)を活用し積極的に参加する	小学校4～6年生うち1年間で「みんなにすすめたい1冊の本」を活用し50冊の読書を、中学校では30冊の読書を達成した児童生徒の割合 小中学校平均 21.1%	小中学校平均 39.2%	小中学校平均 22.9%	小学校 68.1% 中学校 20.3%	小学校 30.6% 中学校 24.2%	指導課・学務課・学校
		④ 読書集会・読書週間・読み聞かせ等の特色ある取り組みを行う		145回/19校(全校)	592回/19校(全校)	788回/19校(全校)	873回/19校(全校)	指導課・学務課・学校
		⑤ 学校図書館司書研究会を実施する	実施	実施	実施	実施 (小中平均年7回)	実施 (小中平均年6回)	指導課・学務課・学校
イ	家庭・地域との連携による読書活動の推進	① 学校において保護者やボランティアによる読み聞かせを行う	小学校270回	小学校251回	小学校711回	小学校740回	小学校763回	指導課・学務課・学校
		② 各小中学校で学校図書館だよりを発行し児童・生徒はもちろん家庭へも情報提供を行う	年11回/校	平均年9回/19校	平均年10回/19校	平均年10回/19校	平均年9回/19校	指導課・学務課・学校
ウ	学校関係者の意識高揚	① 学校図書館司書研究会を開催する(全大会・ブロック会・小中学校部会)		小中平均年9回	小中平均年7回	小中平均年7回	小中平均年6回	指導課・学務課・学校
		② 市教育研究会発表[隔年]における情報交換及び研修会への案内・参加支援を行う	開催		開催		開催	指導課・学務課・学校
3. 地域社会における読書活動の推進								
(1) 中央図書館における子どもの読書活動の推進								
ア	「おはなし会」の充実	おはなし会の充実[月2回]・未就園児対象のおはなし会の開催[月1回]を行う	261人参加	387人参加	465人参加	495人参加	445人参加	中央図書館
イ	家族への読書啓発活動	① 広報活動の強化	図書館だより・HPなどへの広報活動を強化して行う					中央図書館
		② 図書館の子ども向けイベントを充実させる		269人参加	389人参加	315人参加	257人参加	191人参加
ウ	読書への関心を高めるための取組	夏休みコーナーや体験学習用職業コーナーなどタイムリーなテーマの調べ学習コーナーを設置する						中央図書館
エ	児童コーナーの充実	おはなし会の充実とコーナーの展示物の模様替え						中央図書館
オ	ボランティアの育成と活用	ボランティア育成講座とステップアップ研修		2回		3回	3回	中央図書館
カ	研修の充実	児童部門研修へ積極的に参加する	県主催の児童奉仕研修へ1名参加	1名参加	1名参加	1名参加	1名参加	中央図書館

龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画(第一次)の取組

第2節 子どもが読書に親しむ環境の整備・充実

* 目指す将来の姿—子どもにかかわる公共機関などに、読書に親しむための充実した環境整備がなされ、指導的人材を育むシステムが確立されます。

1. 中央図書館・学校図書館の整備・充実								
(1) 中央図書館の整備・充実								
施策名	内容	平成17年度施策内容・実績	平成18年度施策内容・実績	平成19年度施策内容・実績	平成20年度施策内容・実績	平成21年度施策内容・実績	担当課	
ア	中央図書館の図書資料、環境の整備・充実	① 児童図書の充実	児童蔵書数62,679冊	児童蔵書数66,276冊	児童蔵書数67,801冊	児童蔵書数70,341冊	児童蔵書数71,209冊	中央図書館
		② 児童コーナーの工夫や活用しやすい図書の展示・テーマやイベントに沿ったコーナーの設置		8回	8回	6回	7回	中央図書館
		③ 中央図書館・各公民館図書室への物流システムの充実	4回/月	4回/月	4回/月	8回/月	8回/月	中央図書館
イ	中央図書館の情報化	① 利用者開放インターネット用端末の設置		利用者開放インターネット接続PCを2台設置	利用回数 961回/年	利用回数 985回/年	利用回数 1,112回/年	中央図書館
		② インターネット予約システムの導入と活用		予約パスワード申請者数(延) 132人(2~3月実績)	予約パスワード申請者数(延) 500人	予約パスワード申請者数(延) 702人	予約パスワード申請者数(延) 896人	中央図書館
(2) 学校図書館の整備・充実								
ア	学校図書館の図書資料、環境の整備・充実	① 購入図書の希望調査を実施する		19校(100%)	19校(100%)	19校(100%)	19校(100%)	指導課・学務課・学校
		② 必要な参考図書の洗い出しを行い提供していく		みんなにすすめたい1冊の本整備率 77.4%	—	みんなにすすめたい1冊の本整備率 90.6%	みんなにすすめたい1冊の本整備率 91.8%	指導課・学務課・学校
		③ 学校間相互貸借の推進		14回(19校で)	42回(中学校ブロック間)	13回(中学校ブロック間)	14回(中学校ブロック間)	指導課・学務課・学校
イ	学校図書館の情報化	① 各学校図書館にインターネット接続のPCを設置して活用していく	19校で実施(100%)	19校で実施(100%)	19校で実施(100%)	19校で実施(100%)	19校で実施(100%)	指導課・学務課・学校
		② 蔵書のデータベース化の推進	19校(全校)で実施	蔵書のデータベース化された割合 82.7%	蔵書のデータベース化された割合 92.0%	蔵書のデータベース化された割合 93.1%	蔵書のデータベース化された割合 98.9%	指導課・学務課・学校
ウ	学校図書館の活用を充実していくための人的配置の推進	① 司書教諭の配置	17校/19校(全校)	17校/19校(全校)	18校/19校(全校)	19校(全校)	19校(全校)	指導課・学務課・学校
		② 学校図書館司書の継続配置	19校(100%)	19校(100%)	19校(100%)	19校(100%)	19校(100%)	指導課・学務課・学校
		③ 司書教諭の校務分掌への位置付けと読書活動の啓発	19校(100%)	19校(100%)	19校(100%)	19校(100%)	19校(100%)	指導課・学務課・学校
		④ 保護者やボランティアのリストアップとデータ化		実施校 7校/19校	登録者数 250人	登録者数 274人	登録者数 137人	指導課・学務課・学校
エ	学校図書館の地域開放	学校図書館の地域開放に向けての検討			次の理由により削除 ①不特定多数の人間が出入りすることに対し安全面が充分確保されていない②図書館を授業で利用する際に外部から出入りがあると児童生徒が学習に集中できない懸念がある③中央図書館及び小学校単位の設置されているので図書の貸出が受けられる④図書の貸出を地域に広げることにより、図書の管理が困難になり、学校図書館嘱託員司書の本来の業務が困難になる			指導課・学務課・学校
2. 図書館間の協力等の推進								
(1) 図書館間等の連携・協力								
図書館間の連携・協力	県内外図書館間の相互貸借の推進	貸出・借受946件	貸出・借受 821件	貸出・借受 1,119件	貸出・借受 1,386件	貸出・借受 1,282件	中央図書館	
(2) 中央図書館と大学図書館の連携・協力								
中央図書館と大学図書館の連携・協力	流通経済大学図書館の蔵書貸出と相互利用を大学へ提案			市民の大学図書館利用が実現(有料・年齢制限有)			中央図書館 企画調整課	
(3) 中央図書館と学校図書館の連携・協力								
中央図書館と学校図書館の連携・協力	学校図書館への団体貸出			各学校からの中央図書館へのレファレンス件数 32件	各学校からの中央図書館へのレファレンス件数 80件	各学校からの中央図書館へのレファレンス件数 12件	指導課・学務課 学校・中央図書館	

龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画(第一次)の取組

3. 配慮や支援を必要とする子どもたちへの読書環境の整備							
(1) 障がいの程度等に応じた読書支援体制の確立							
障がいの程度に応じた読書支援体制の確立	日々の業務で可能なサービスを提供する						中央図書館
(2) バリアフリー化の推進							
ア 施設のバリアフリー化	必要に応じてバリアフリーを進める						中央図書館
イ 在宅障がい児への支援	日常生活用具給付事業の周知と必要に応じた個別支援		広報掲載1回・個別支給0件	身体障害者手帳の交付時に日常生活用具を含めた給付事業について周知	日常生活用具給付と読書活動推進の接点が薄いことから削除		社会福祉課
(3) 障がい児のための読書活動の配慮							
障がい児のための読書活動の配慮	イベント参加への支援			つぼみ園イベント案内を個別配布会場へ優先参加			中央図書館
(4) つぼみ園における読書環境の充実							
つぼみ園における読書環境の充実	絵本の選書と読み聞かせの実施	読み聞かせ15~20回/週(4冊/年購入)	読み聞かせ18回/週(5冊/年購入)	読み聞かせ8回/週(35冊/年購入)	読み聞かせ10回/週(10冊/年購入)		社会福祉課
(5) 外国籍の子ども等へのサービス							
外国籍の子ども等へのサービス	外国語図書の収集や外国語図書館パンフレットの作成		パンフレット3ヶ国語(英語・中国語・ポルトガル語)	パンフレット1ヶ国語(韓国語)追加			中央図書館
(6) 来館することが困難な子どもへのサービス							
来館することが困難な子どもへのサービス	サービス内容を検討する			済生会病院へ子ども文庫設置を打診しましたが、了解を得られませんでした。			中央図書館

第3節 地域社会の環境の充実と意識の向上

* 目指す将来の姿ー地域社会やそこに住む人々が、子ども読書活動推進を支える意識を有し、読書に親しむ環境が整っています。

1. 啓発広報の推進							
(1) 「子ども読書の日」等を中心とした啓発広報事業の推進							
施策名	内容	平成17年度施策内容・実績	平成18年度施策内容・実績	平成19年度施策内容・実績	平成20年度施策内容・実績	平成21年度施策内容・実績	担当課
「子ども読書の日」等を中心とした啓発広報事業の推進	関係機関がイベントを行う	中央図書館でイベント開催	学校独自の取り組みを行った学校数 19校(全校)中央図書館でイベント開催	学校独自の取り組みを行った学校数 19校(全校)中央図書館でイベント開催	学校独自の取り組みを行った学校数 19校(全校)中央図書館でイベント開催	学校独自の取り組みを行った学校数 19校(全校)中央図書館でイベント開催	指導課・学務課・学校 中央図書館
2. 推進体制							
(1) 龍ヶ崎市子ども読書活動推進会議の設置							
龍ヶ崎市子ども読書活動推進会議の設置	設置要項を作成して推進会議設置する	要項に基づき設置					
(2) 子ども読書活動活動の実態調査							
子ども読書活動の実態調査	① 学校図書館貸出冊数の調査	小学校 22.6冊 中学校 21.3冊	小学校 25.8冊 中学校 25.7冊	小学校 33.2冊 中学校 29.3冊	小学校 37.9冊 中学校 27.2冊	小学校 41.0冊 中学校 22.3冊	指導課・学務課・学校
	② 中央図書館における児童図書の貸出冊数調査	貸出 114,068冊/年	貸出 117,251冊/年	貸出 122,824冊/年	貸出 120,549冊/年	貸出 112,197冊/年	中央図書館
3. 関係機関等の連携・協力							
(1) 公共施設の申請・相談窓口に絵本の設置							
公共施設の申請・相談窓口に絵本の設置	公共施設の申請・相談窓口に絵本の設置				子ども福祉課窓口に絵本を設置		中央図書館 学務課
(2) 地域内における読書スペースの確保							
地域内における読書スペースの確保	子ども文庫の設置		2箇所設置依頼	4箇所設置	設置箇所へ図書の増冊	新型インフルエンザの感染拡大を懸念して増設・増冊は見合わせる	中央図書館
(3) 図書のリサイクル							
図書のリサイクル	リサイクル本の収集		市役所職員への呼びかけ(137冊収集)		市民からの寄贈図書から選書		中央図書館